

治療審査委員会申請書類

患者ID : _____

患者氏名			生年月日			年齢			性別													
診療科			区分	☐ 階病棟 ☐ 外来		申請医師名																
診断名						Stage			Performance Status													
告知内容																						
治療方法	プロトコール名 CBDCA + Weekly ABI (ハ°クリタキセル・アルブミン懸濁型)								告知Grade													
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積 m ²													
	血清クレアチニン値				mg/dl		GFR(補正あり)		性別無し ml/min													
	AUC		6		に設定する																	
	カルボプラチン		#VALUE!		mg/body		(AUC6、カルバートの式:AUC×(GFR+25)にて計算)					d1										
	アブラキサン				mg/body		(100mg/m ²)					d1、8、15										
	インターバル		3週																			
	Day1																					
	① ハ°ロ/セトロン点滴静注バッグ0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + デキサート6.6mg 1.5V[9.9mg] 120ml/hr 30分かけて投与																					
	② 生食100ml (本体用メイン)																					
	③ アブラキサン _____ mg (100mg/m ²) + 生食100ml 30分かけて投与 ※ 1Vあたり生食20mlで溶解し溶解後は希釈しない _____ ml																					
④ カルボプラチン ##### mg + 生食250ml 250ml/hr																						
内服薬																						
デカドロロン4mg 1回1錠 1日2回 朝昼食後 2～4日目に内服																						
Day8, 15																						
① デキサート注6.6mg 1V + 生食50ml 100ml/hr																						
② 生食100ml (本体用メイン)																						
③ アブラキサン _____ mg (100mg/m ²) + 生食100ml 30分かけて投与 ※ 1Vあたり生食20mlで溶解し溶解後は希釈しない _____ ml																						
Day1 : 好中球数<1,500/μL、血小板<10万/μL ⇒ 投与延期																						
Day8、15 : 好中球数<1,000/μL、血小板<5万/μL ⇒ 投与スキップ																						
投与後 : 好中球<500/μL(7日以上)、血小板<5万/μL 発熱性好中球減少症の発現 ⇒ 次コースの投与量減量																						
<減量の目安>																						
<table><tr><td>減量段階</td><td>アブラキサン</td><td>カルボプラチン</td></tr><tr><td>通常投与量</td><td>100mg/m²</td><td>AUC 6</td></tr><tr><td>1段階減量</td><td>75mg/m²</td><td>AUC 4.5</td></tr><tr><td>2段階減量</td><td>50mg/m²</td><td>AUC 3</td></tr></table>											減量段階	アブラキサン	カルボプラチン	通常投与量	100mg/m ²	AUC 6	1段階減量	75mg/m ²	AUC 4.5	2段階減量	50mg/m ²	AUC 3
減量段階	アブラキサン	カルボプラチン																				
通常投与量	100mg/m ²	AUC 6																				
1段階減量	75mg/m ²	AUC 4.5																				
2段階減量	50mg/m ²	AUC 3																				
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日																						
併用薬の確認																						
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()																					
予測される副作用	悪心・嘔吐 制吐剤(プリンペラン、ドンペリドン、ジプレキサ等)を使用し緩和する 骨髄抑制 中止、減量、休薬をする。G-CSFの使用も考慮する 末梢神経障害 筋肉痛・関節痛																					
備考	※特定生物由来製品(製造ロット番号の記録)																					
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可																					

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日